

驚き、そして新たな発見! festival

昼公演前半ではまず「ギターで奏でるクラシック!」いわゆるクラシックの名曲の世界をクラシックギターで表現します。無伴奏チェロ組曲、無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番よりシャコンヌ、主よ、人の望みの喜びよ、などクラシックファンにもお馴染みの名曲たちを名古屋のトップギタリストたちが奏でます。いつもの名曲もギターで聞くとまた違った表情を見せます。そして後半ではバリを拠点に活躍する松本大樹が出演し、鮮やかな技巧に支えられた力強く情熱的な表現力で聴衆を魅了します。そしてさらに世界最難関GFA国際コンクール2017で第1位を獲得したTengyue Zhangがニューヨークよりこのためだけに来日! 15,6歳ですでに超難曲を弾きこなし、名門ジュリアード音楽大学で培ったその豊かな音楽性は折り紙つき。圧倒的な超絶技巧と聴いたことのないスケールの大きさに驚愕の演奏を聴かせてくれることでしょう。

そして夜公演ではふたつのギターデュオが熱い火花を散らす! 「百年に一度の才能!」と評される徳永兄弟は世界的にも珍しいフラメンコギターデュオの最先端! 2歳違いの兄弟はそれぞれ中学を卒業してすぐにセビリアへ渡り、数々のコンクールで結果を残し、そのまま現地の音楽院で認められ講師になってしまったほど。我々の持っている鼓動をも揺れ動かし、フラメンコの境地へ皆様を誘います。そして最後にはポーランド発クピンスキーギターデュオ! 8年前のこと、ポーランドで活動していた二人がYouTubeで動画を公開するや否や人気が発火! 今や世界的ギターデュオとして各国を飛び回っています。こちらは個人的に「世界一」と自信を持って勧められるギターデュオです! 8年前から狙っていた夢が実現! ついに名古屋にやってきます。Youtubeを駆使し、世界にPRする姿からも感じますが、強い推進力がありながら柔軟性を持つ彼らの音楽性は流石の一言。ガーシュウインのラプソディーインブルーなどは様々な楽器で演奏されますが「ギターならではの自由度の限りなく高い演奏によってどんな編成よりも一番面白く聴けるのでは?」と思います。他にもショパンやロッシニなどクラシックの名曲たちをギターデュオという形で限りなく昇華させてこの熱いフェスティバルを締めくくります。「ギターデュオでここまでやるか!」「あれ?原曲より好きかも?」なんて思えるんじゃないかと思えます。驚き溢れる今年のギターフェスティバルへ是非お越しください!



名古屋ギターフェスティバル実行委員会委員長 生田直基

NGF2018 出演者情報



クピンスキーギターデュオ 50都市以上で絶賛の嵐! これほどまでに美しく艶やかな ギターデュオは聞いたことがない!



エヴァ・ジャブルジンスカ、ダリウス・クピンスキーはそれぞれソリストとしてもヴァイカースハイム(ドイツ)、ティヒー(ポーランド)、パルマ(イタリア)、など名だたる国際コンクールでの入賞多数という輝かしい経歴を持つ。そんな二人はある日思い立ち、テーブルに二重奏の楽譜を並べてそれとなく弾いてみる。するとどうだろうか、まばゆいほどに輝かしく、美しい至上の音楽が生まれた。「クピンスキーギターデュオ」誕生の瞬間である。その奇跡的な相性に驚いた二人は早速本腰を入れてデュオとしての音楽を磨くことを決意。度重なる練習と研究を重ね、動画配信サイトyoutubeでの動画投稿という形でデュオでの演奏活動を始動させた。演奏の良さに加えてこの現代ならではのやり方がヒットし、瞬く間に人気急上昇。どこまでも息のあった演奏、非凡な才能、限りなくポテンシャルを持った新たな彗星に目をつけたメディアや音楽事務所がこぞ彼らを取り上げ、これまでに数十カ国でリサイタルツアーを成功させ、ギターデュオという世界、いやクラシックギター界全体で今や最も旬のギターデュオとして世界的に認知されている。この名古屋でもその噂に違わぬ異次元の演奏を聴かせてくれるだろう。

コラボ企画

ギター展示&体験!
ホワイトにて製作家たちによる渾身の一本を展示します!
試奏可能、匠の一本に触れる貴重なチャンス!

参加工房 朝倉工房/佐藤クラシックギター工房/クラシックギター工房 響 寺町誠

ニューウェイブを起こす新時代の弦メーカー、
“フィガロ弦”も登場!

FIGARO
GUITAR STRINGS

参加企業 株式会社フィガロ

松本大樹
彼が紡ぐその感傷的な旋律は涙モノ!



滋賀県出身。16歳よりギターをはじめ。高松短期大学音楽科を卒業後、渡仏。フランス国立ニース音楽院並びにパリ国立高等音楽院(CNSMDP)首席で卒業。コリア国際コンクール(スペイン)、ネタニア国際コンクール(イスラエル)、ロベルト・ヴィダル国際コンクール(フランス)など各地のコンクールで入賞。現在はパリを拠点とし、国際的に演奏活動をする。指導者としてもパリ16区立Francis Poulenc音楽院など3つの音楽院にて教鞭を執る。時に火柱のように熱く、時に潮のように柔らかく自由に指板の上を駆け巡るその演奏は才能という言葉では表現しきれないスケールの大きさを備えている。



昨年の展示風景

徳永兄弟
100年に一度の逸材!



フラメンコギタリストの父とフラメンコダンサーの母のもとに生まれた徳永兄弟。と聞けば15歳でスペインへ渡ったのは必然的かもしれない。名門クリスティーナ・ヘレン・フラメンコ音楽学校でギタリストとしての修行をスタートし、渡欧後まもなく、フラメンコ界の登竜門である「日本フラメンコ協会新人公演」奨励賞を兄弟で2年連続受賞という快挙を成し遂げ、その圧倒的な実力で「徳永兄弟」の名を世間に知らしめる。“100年に一度の逸材”とも評される超絶技巧とリズム感、高い音楽性、そして兄弟ならではの息のあった演奏は他の追随を許さない。

生田直基
極甘の音色!驚きのエモさ!



英国トリニティ音楽大学クラシックギター科卒業。20代の若さでNGFを立ち上げ、企画&運営で指揮をとり、毎年ゲストたちとも共演。6年目に入り、当日の舞台からはそろそろ降りるかと思われた2018年。「主催者も弾かない!」という声援から今年も出演決定!そして名古屋を中心にアジアへも招待されたりと演奏家としても活躍している彼がよく終演後に聞く感想が「エモい!」。意味がわからず若干不安になった本人が調べたところ、意味は「うまく説明できないけど、なんか良い」だそう。

collaboration

公式Webサイトオープン! web

公演当日まではほぼ毎日更新!!こちらの公式webサイトではNGF出演者の見どころ、舞台裏の様子、最新動画情報などをお届けします。公演情報だけでなくギターがもっと面白くなるようなエピソードや、ギター愛好者にも上達のためのおトク知識などNGFを最高に楽しむためのコラムも盛りだくさんです!

www.guitar-fes.nagoya



Tengyue Zhang 全てが規格外!ギターってそんなに簡単だった?



中国河北省生まれ。5歳より父の手ほどきで始めたTY(Tengyueの相性)は早くからその才能を開花させ、7歳で北京音楽院付属校へ入学を許可される。在学中にウィーン国際コンクールなどのユース部門で優勝。そして卒業後ニューヨークへ渡り世界的名門ジュリアード音楽院へ入学。全てが簡単に見えてしまうほどの驚愕のテクニック、幅の広いダイナミックな音楽、そして深い音楽への造詣を身につけて昨年世界最難関のGFA国際ギターコンクール(米)、フラウチ国際コンクール(露、モスクワ)にて立て続けに優勝。2018年はカーネギーホール(NY)を含む世界50都市以上でリサイタルを予定しており、その勢いにますます拍車がかかるアジアの新星!

デュオグラツチオ
なんだか落ち着く、クセになる!



名古屋を拠点に演奏活動、教授活動を展開中のギタリスト伊藤兼治と高須大地により2017年に結成。結成したてのデュオだが共に30代半ばを迎えておりフレッシュ感も多分ある筈。クラシック音楽に留まらず、南米音楽、映画音楽、超絶技巧が求められる難曲から、悲しく儂い曲まで…幅広いジャンル、レパートリーを持つ実力派ギターデュオとして活動中。「オールデュオでもソロもしっかり弾けます!」系デュオを目指し常にプログラミングを思案中。今回のNGFではクラシックの名曲を披露!